



スマートフォンで
広報たじみを
持ち歩き！

編集発行 多治見市役所 企画部 秘書広報課
〒507-8703 岐阜県多治見市日ノ出町2丁目15番地 TEL:0572-22-1111
FAX:0572-24-3679 E-mail: hisyokho@city.tajimi.lg.jp
<http://www.city.tajimi.lg.jp/>



多治見市緊急メールに登録してください
携帯電話に緊急情報を送信します
<https://service.sugumail.com/tajimi>



▲ソメイヨシノの枝を見せ、「花芽に咲く花の数で樹木の状態が分かります」と説明をする宮上さん



▲カルス（樹皮の巻き込み）がみられるハナノキ。自然に治ろうとする力の表れです



▲土壌改良した平野公園で満開に咲くヤエベニシダレ。樹木の健康を保つには、土壌の状態をその木に合うようにすることが大切

SPECIAL TALK



輝く技術

樹木の偉大さを
伝えたい



宮上佳弘さん
多治見市役所職員
樹木医、岐阜県緑の博士
(グリーンドクター)2A級

私が「木のお医者さん」と言われる樹木医になったのは、市役所で緑に関わる部署（緑化公園課や環境課など）に長年携わったためですが、実は、材木屋の家に生まれ、材木に囲まれて育ったことも何らかの影響を受けたと思っています。学生の頃は山岳登山で基本的なザイルワーク*や気象のこと、地図の読み方などを覚えました。全て、現在の樹木医およびグリーンドクターの活動に生かされています。

樹木の診断をする際に必要なのは、ここに至るまでの経緯とこれからどうしたいのかの2点です。依頼者からこれらを詳しく聞き取り、状況に合った処方します。人の病気と同じです。判断に迷う場合は、複数の専門家と相談して決めます。

地域の自然に精通している方や造園業を営むグリーンドクター、樹木を研究する大学教授などはそれぞれの立場でより専門的です。私は樹木医ですが行政マンでもあります。それぞれが持つ知識を寄せ合い、役割分担することが最善だと私は考えます。


樹木は人間が足元にも及ばないほど長い年数を生き続け、私たちは樹木が作り出す自然に守られ、生かされています。その偉大さを一人でも多くの人に伝えていきたいです。

※ 登山で実践される解けにくいロープの結び方

人口と世帯数の動き	
平成30年4月1日現在	
総人口	
111,292人	(前月比 -357人)
男 54,100人	(前月比 -216人)
女 57,192人	(前月比 -141人)
世帯数	
46,227世帯	(前月比 +41世帯)

文化財み～つけた 首切り地蔵

大原町6 普賢寺参道



昔、子どもの病気を治そうと、女の人が夜な夜なこの地蔵に願をかけていました。しかし行人を襲う曲者と間違われ侍に斬られそうになりました。その時地蔵が身代わりとなって現れ、その首が斬られて飛んだという昔話が残っています。以前は幸町1丁目にありましたが、現在は普賢寺参道に安置されています。